

## 事例分類

保育内容の検討と合わせた取り組み～行事のあり方、内容の見直し～

## ■サマリー

## 課題

保育士不足、支援のいる子どもが増加している中、保育士の仕事が増え、持ち帰りの仕事、残業が増えている。  
 ・例年通り行われている行事に見直しが必要なのではないか

## 目標

行事を見直し、残すもの、やめるもの、見直すものを明確化する。

## 成果

・行事に対して思っていたことを一人ひとりが発言し、行事の在り方や意義などを再確認することができた。  
 ・内容の見直し後、省略したもの1つ、簡素化やり方を変えたもの5つを来年度実施予定。

## 課題の意図・詳細説明

・支援の必要な子ども、保護者が増え、様々な家庭がある。例年通りの行事や仕事に加え、支援などの対応にも追われ、仕事量が増えている。  
 ・また、例年通りの行事が今の時代に合っているのかなどを検討する必要がある。

## 目標の意図

・行事を一つひとつ見直し、今現在この保育所でどのような行事が必要なのかを話し合い、共通認識を持つことで子どもたちが日頃の保育の中で、無理なく行事を楽しめるようにする。  
 ・職員同士良いところを認め合い、保育の質を高めチーム力を上げる。

## 具体的な取り組み 12月

- ・各クラスで「年間行事予定表」をもとに行事をポジティブとネガティブに分ける。気を付けることとしてー
  - ・話し合いはお互いの行事に対しての考え方や思いを共有する場であること。
  - ・基本理念や保育目標を頭の片隅においておくこと。
  - ・ただ大変だからなくすのではない。どうすれば保護者に子どもの成長や日頃の頑張りをみてもらえるのかを考える。



～クラスで話し合っている様子～

## 具体的な取り組み 1月

- ・各クラス（給食も）から1名ずつ参加し、全体で話し合う。
- ・ポジティブ・ネガティブそれぞれの行事で出た意見を言いながら付箋を貼っていく。
- ・変えられるところ、残しておきたい事、それぞれのクラスで出た意見を出す。



## 具体的な取り組み 2月

- ・1月に引き続き各クラスから1名ずつ話し合いに参加。（同じ職員じゃなくてよい）合計4回会議を行った。

- ・話し合いで出た意見をまとめ、来年度から取り入れていく。

### ～取り組んでみて～

- ・反省とは違う目線で行事をみれた。
- ・見直して、必要性や意味や意義を改めて考えることができた。
- ・一人ひとりの行事の思いを言えて、有意義な時間だった。
- ・保育士の経験や立場で意見が違っていた。
- ・行事をなくすというより軽減意見が多かった。
- ・ポジティブ意見が多かった。



課題：今回行事を見直すことで職員のチーム力、協力体制ができたように感じるが、4月に毎年異動があるので、今のモチベーションをしっかりと次年度に引き継いでいきたい。